



武庫川女子大学の卒業生 2 人と在学生 1 人が 9 月に開幕した「WE リーグ」で活躍しています

日本初の女子のプロサッカーリーグとして 9 月に開幕した WE リーグで、武庫川女子大学の卒業生 2 人と在学生 1 人が活躍しています。このほど武庫川女子大学スポーツセンターのアンケートに 3 人がこたえ、意気込みなどを伝えてくれました。

3 人はサンフレッチェ広島レジーナに所属する松原志歩さん (DF)、松原優菜さん (DF)、藤田七海さん (GK)。(松原志歩さんと優菜さんは姉妹)。松原志歩さんは短期大学部健康・スポーツ学科 2018 年 3 月卒、藤田七海さんは健康・スポーツ科学部健康スポーツ科学科 2021 年 3 月卒。松原優菜さんは健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科 4 年に在学中です。

松原優菜さんは、兄の影響で小学生から本格的にサッカーを始め、中学生から姉の志歩さんと同じ「セレッソ大阪堺レディース」に所属。「サンフレッチェ広島レジーナ」立ち上げに伴い、「新しいチームでプレーできることに魅力を感じ」、入団しました。コロナ禍の影響で大学の授業の多くがオンラインで履修可能になったことから、拠点を広島に移し、サッカー選手として活動しながらオンラインで授業を受けています。プレーの特長は「後ろからのパスで攻撃の起点になること。ゴール前での体を張ったプレー」と自己分析。プロとして実際にプレーし、「個人の責任感や覚悟がより強くなった」と感じているそうです。当面の目標は「試合に出続けること」。大学の仲間や後輩たちに向け、「WE リーグの情報を発信したり、観戦の機会を作ったりしてリーグを身近に感じてもらいたい」と話しています。

藤田七海さんは武庫川女子大学サッカー部の出身。プロにチャレンジした理由と手ごたえについて「サッカーを続けるなら高いレベルでもっと上手になりたいと思い、チャ

レンジした。プロはプレーの速さ、考え方、意識、すべてがこれまでとは違います」と答えています。

松原志歩さんは「新しいチームで一から頑張りたいと思って入団しました。プロは結果がすべて。得点に絡むプレーを増やし、優勝をめざします」と話しています。

WE リーグは役職員の 50 %以上を女性とすることを参入基準としたり、プロ契約する選手の最低年俵を設定したり、ジェンダー平等と女性アスリートのキャリアを後押しする施策を推進しています。武庫川女子大学は、女性活躍を推進する女子総合大学として、性別にとらわれず、誰もが輝く社会の実現につながる 3 人の活躍を応援していきます。

この件についてのお問い合わせは
在学生の松原 優菜さんについて
武庫川女子大学スポーツセンター（TEL：0798-45-8957）

卒業生の松原 志歩さん、藤田 七海さんについて
サンフレッチェ広島レジーナ（TEL：082-259-3220）
までお願いします。

ご参考：サンフレッチェ広島レジーナの HP
<https://www.sanfrecce.co.jp/regina/>

松原優菜さん



松原優菜さん（プレー中）



松原志歩さん



松原志歩さん（プレー中）



藤田七海さん



藤田七海さん (プレー中)

